

2024 年度 第 3 回 10 月阪大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

I

問 1 15 点

A と B は、水量の豊富な河川やダムを設置に適する高低差のある地形に恵まれ、水力発電が中心である。また、B は、火山活動の活発なプレート境界に位置し、地熱発電の割合も高い。一方、水力発電に向かない平坦な氷食地の広がる C は、偏西風を利用する風力発電が中心であり、農業廃棄物等によるバイオマス発電の普及も進む。

【加点ポイント】

i) A と B について (6 点)

①<2 点> 【A と B で盛んな発電方法】

○A と B では水力発電が盛ん →2 点 (※「A (B) のみで盛ん」の場合は △1 点加点)

②<4 点 (2 点×2)> 【水力発電の背景】

○高低差のある地形／山脈や山地がある／フィヨルド (U 字谷) や高原などがある →2 点

○水量の豊富な河川／降水量が多い／偏西風が地形性降雨をもたらす →2 点

ii) B について (4 点)

③<2 点> 【B で盛んな発電方法】

○B では地熱発電が盛ん →2 点

④<2 点 (1 点×2)> 【地熱発電の背景】

○火山活動が活発／マグマの熱を利用できる →1 点

○プレート境界に位置する

／アイスランドはプレートの広がる境界、ニュージーランドは狭まる (ずれる) 境界に位置する

→1 点

iii) C について (5 点)

⑤<2 点> 【C で盛んな発電方法】

○C では風力発電が盛ん →2 点

△「C ではバイオマス発電が盛ん」のみ →1 点

⑥<3 点 (2 点+1 点)> 【風力発電の背景】

○偏西風が吹く →2 点

○平坦な地形／氷食地が広がる／高い山がない →1 点

問 2(b) 14 点

液体バイオ燃料は原料となる植物が光合成で育つため、石油の代わりに消費量が増えても大気中の二酸化炭素が増えず、地球温暖化の対策となる。しかしながら、もともと食用や飼料用に生産されてきた原料作物が燃料用に回されることで食品価格が高騰したり、原料作物の農地を拡大するために森林が破壊されたりすることがある。

【加点ポイント】

i) メリットについて (6 点)

①<2 点> 【地球環境への利点】 →2 点

○温暖化の対策になる／地球温暖化を遅らせる

②<4 点 (2 点×2)> 【①の理由】

○原料となる植物が光合成で育つ／原料植物は生育時に二酸化炭素を取り込む →2 点

○燃焼 (消費) 時に二酸化炭素が増えない／カーボンニュートラルである →2 点

ii) デメリットについて (8 点)

③<4 点 (2 点×2)> 【原料植物について】

○ (原料作物は) もともと食用である／食料として生産されてきた／食用の需要が多い →2 点

○ (原料作物は) 飼料用である／飼料の需要が多い →2 点

④<2 点> 【需給バランス変化への悪影響】

○食品価格 (食料／食糧／穀物価格) の高騰／飼料の高騰／畜産物の高騰 }
○貧困層が食料を買えなくなる／栄養不足人口の増加 } いずれかで○2 点

⑤<1 点> 【その他のデメリット】

○森林破壊／森林伐採／森林面積の減少 →1 点

⑥<1 点> 【⑤の背景】

○農地の拡大／原料作物の耕作地の増加 →1 点

問 3 15 点

P はチベット高原の、Q はアンデス山脈上の高冷地であり、前者ではヤク、後者ではリャマやアルパカが飼育される。いずれも高冷地の環境に適応し、肉が食用、毛が毛織物用となるほか、荷役用にも利用される。ヤクは搾乳もされる。これらの動物の糞は、森林が発達せず薪を得られない高冷地において、重要な燃料となってきた。

【加点ポイント】

①<4 点 (2 点×2)> 【P と Q の自然環境】

(※「P (Q) のみの特徴」としている場合は それぞれ△1 点)

○ (P と Q は) 高地／高原／標高が高い →2 点

○ (P と Q は) 気温が低い／冷涼 →2 点

(※ ◎「P と Q は高冷地である」 →4 点)

<次ページに続く>

②<2 点> 【伝統的生業】

○家畜の飼育／放牧／牧畜 →2 点

③<2 点> 【家畜の種類】

○P は ヤク →1 点

○Q は リヤマ／アルパカ →1 点

④<2 点 (1 点×2) > 【家畜の用途】

| | | |
|-----------|---|-------------------|
| ○肉を食用にする | } | ○1 つ 1 点 2 点まで |
| ○毛を毛織物にする | | |
| ○荷役に使用する | | |
| ○乳を搾る | | |

⑤<3 点> 【薪以外のバイオマスエネルギー】

○家畜の糞 →3 点

⑥<2 点> 【⑤の背景】

○木材（薪）が乏しい／森林が発達しない →2 点

II

問 1 15 点

郊外の幹線道路沿いや高速道路のインターチェンジ付近など、広い駐車場を確保しやすい場所に、ショッピングセンター、アウトレットモール、大型スーパー、コンビニエンスストアなどの商業施設が増えた。一方、鉄道の利用者が主な顧客となる駅周辺の百貨店や、広い駐車場を持たない、地方都市の古くからの商店街は衰退した。

【加点ポイント】

i) 発展した商業施設について

①<3 点> 【発展した商業施設】

○ショッピングセンター／アウトレットモール／大型スーパー／コンビニエンスストア

②<3 点> 【①の立地場所】

○郊外／幹線道路沿い／高速道路のインターチェンジ付近

③<2 点> 【②の特徴】

○広い駐車場を持つ

ii) 衰退した商業施設について

④<3 点> 【衰退した商業施設】

○百貨店／古くからの商店街／個人商店

⑤<2 点> 【④の立地場所】

○駅周辺／鉄道利用者が多い

⑥<2 点> 【⑤の特徴】

○広い駐車場を持たない

問 2 15 点

※ 【指定語句】 書店の数 宅配便の件数 新聞の発行部数 飲食料品の販売額 4 つ全て使用
(※下線不要)

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用してれば減点しない。

オンラインショッピングが普及し、品ぞろえで大手販売サイトに劣る小規模店の多い書店の数は減ったが、商品を購入者へ届ける宅配便の件数は増えた。新聞の発行部数は、ウェブサイトから情報を得る人が増え、減った。入手に時間と送料がかかる宅配便の利用が不便な場合も多い飲食料品の販売額は、あまり影響を受けなかった。

【加点ポイント】

①<1 点> 【書店について】

○書店の数は減った →1 点

②<2 点> 【①の背景】

○小規模店が多い／品ぞろえが悪い／EC サイト（インターネット／ネット）での注文が便利
／ネット（スマートフォン／タブレット／PC など）で漫画や小説を読む人が増えた →2 点

③<1 点> 【宅急便について】

○宅配便の件数は増えた →1 点

④<2 点> 【③の背景】

○商品を購入者へ届ける件数が増えた／商品の個別配送が増えた
／オンラインショッピングの宅配件数が増えた →2 点
(※文章中で「宅配便がオンラインショッピングの配送に使われている」意が読み取れれば加点)

⑤<3 点> 【書店数と宅配便の共通の背景】

○オンラインショッピングが普及／EC サイト（インターネット）による注文が増加 →3 点

⑥<1 点> 【新聞について】

○新聞の発行部数は減った →1 点

⑦<2 点> 【⑥の背景】

○ウェブサイト（インターネット）から情報を得る人が増えた
／ウェブサイトの方が新聞より情報が早い
／ウェブサイトは欲しい情報を探しやすい →2 点

⑧<1 点> 【飲食料品について】

○飲食料品の販売額はあまり影響を受けなかった（変わらなかった） →1 点

⑨<2 点> 【⑧の背景】

○（インターネットで）入手に時間がかかるのは不便／入手に送料がかかるのは割高
／飲食料品は自宅近くなどで手に入りやすい／毎日必要なものは宅配便に向かない
／毎日の暮らしに必須の飲食料品をインターネットで買う人は少ない
／飲食料品の販売額は人口（需要量）の変化が少ないので全体の金額はあまり変わらない →2 点

問 3 20 点

周辺空港から航空路線の集中するハブ空港が、大型航空機が就航する主要路線により遠方の別のハブ空港と結ばれ、地球上の時間距離が急速に縮まった。よって、低緯度の高地にあり、温帯の初夏のような気温が続く X には、空輸する切り花を生産する農業が成長した。また、有力なハブ空港を持ち、世界中のビジネスマンが集まり易い Y には、多国籍企業のオフィスや、それらに投融資を行う金融機関が集積する国際金融センターが発達した。

【加点ポイント】

i) 「ある交通網の発達」について (4 点)

①<2 点> 【発達した交通網】

○ハブ空港 →2 点 (※文章中にどこかで記述されていれば可)

△「航空網の発達」のみ →1 点

②<2 点> 【①の影響】

○地球上の時間距離が縮まった

／ハブ空港に主要路線 (大型機の就航) を集中させることで効率的な航空輸送が実現した

／アフリカや南アメリカと欧米やアジアの大市場が短時間で結ばれるようになった →2 点

ii) X の諸地域について (8 点)

③<2 点> 【発達した第一次産業】

○切り花を生産する農業が発達／花卉の生産が増加 →2 点

×「農業」のみ

④<4 点 (2 点×2)> 【③の自然的背景】

○高地に位置する／標高が高い／高山気候 →2 点

○温帯の初夏のような (温和な) 気温が続く／同緯度の低地より気温が低い／常春気候 →2 点

⑤<2 点> 【③の社会的背景】

○ (切り花を) 空輸できるようになった／航空輸送が便利になった／ハブ空港を使って輸送 →2 点

(※「花を航空輸送する」ことが分かれば可)

iii) Y の諸地域について (8 点)

⑤<4 点 (2 点×2)> 【国際金融センターとなる都市の特徴】

○多国籍企業のオフィスが集まる

○海外の金融機関が集積／世界の投資銀行が集まる

○国際的な金融取引が集中する

○1 つ 2 点

4 点まで

⑥<4 点 (2 点×2)> 【⑤の背景】

○ハブ空港を有する

○世界中のビジネスマンが集まり易い

○英語が通じやすい

○1 つ 2 点

4 点まで